

カンボジア スタディツアー 報告会

////////////////////////////////////

東京学芸大学
養護教育専攻2年
渡辺愛桜

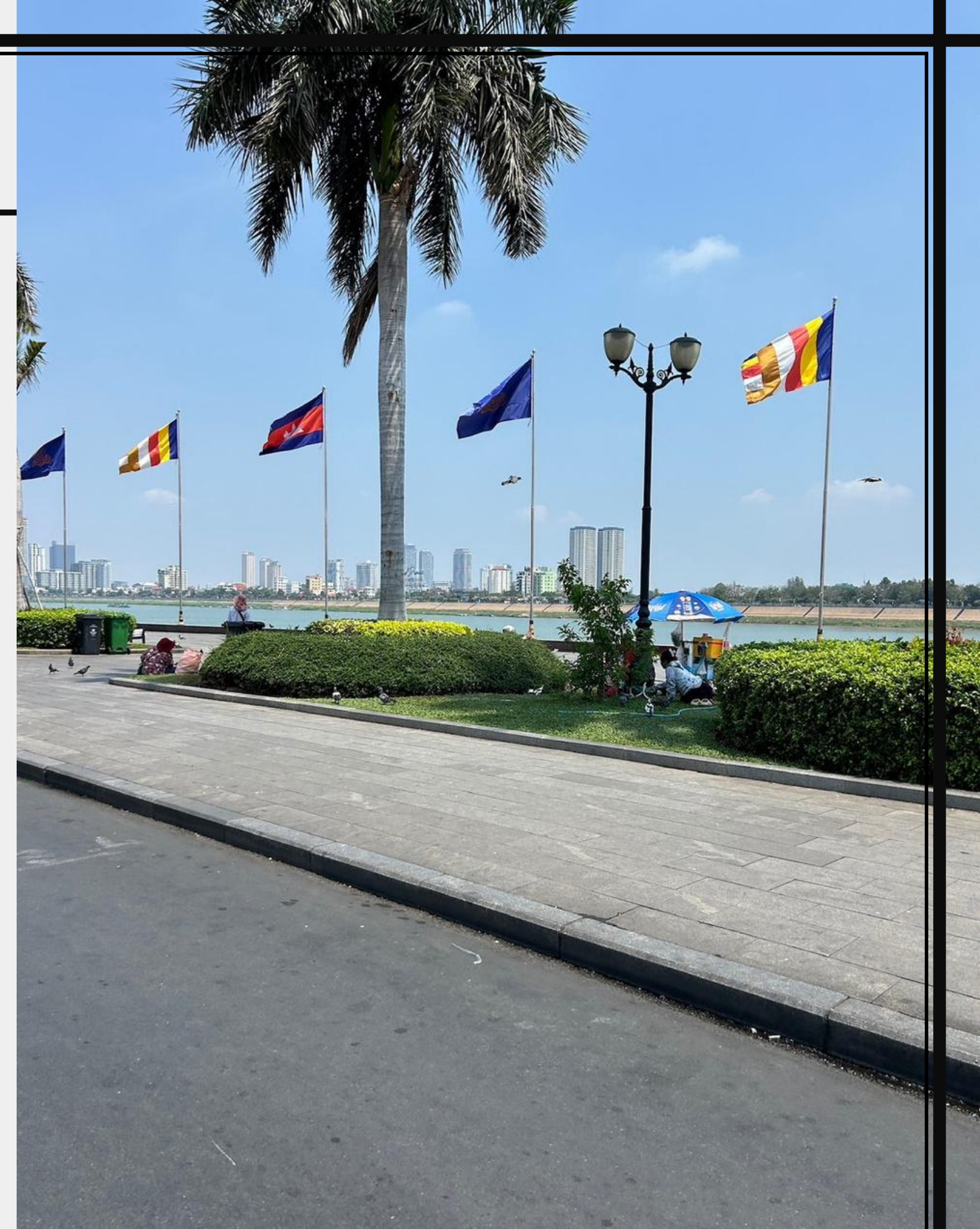


目次

- 01 参加した理由
- 02 学生交流・保健指導
- 03 生活・文化について
- 04 感じた・学んだこと
- 05 課題と成長したこと・今後について

01 参加した理由

1. 小さい頃の海外旅行の記憶
⇒文化の違いをまた感じたい
2. 外国での教育を見ることで、
日本で活かせることがあるかもしれない
3. 大学ではいろいろなことに挑戦したい



02 学生交流・保健指導

BTEC(学生交流)

・コミュニケーション

自分の英語力とBTECの学生の英語力の差が大きく、
思うようにコミュニケーションが取れない
しかし、コミュニケーションを取らないと何もできない



簡単な英語やジェスチャーを活用
徐々に積極的に動けるように

・保健室

日本からの支援品が多かったが、
カンボジアの環境には適さない



02 学生交流・保健指導

BTEC(保健指導)

・導入でのトラブル

TGUの学生が考えていた導入
指導 ⇒ BTECの学生
サポート⇒TGUの学生
その意図がうまく伝わっておらず、導入部分でバタバタ

・子どもたちとの関わり

簡単な英語でのコミュニケーション
明るい笑顔や歓迎の様子

・授業の工夫

子どもたちの注意を惹きつける方法
机間巡視



02 学生交流・保健指導

PTEC(学生交流)

・コミュニケーション

BTECの時より、積極的に
BTECに比べてシャイな学生が多い

・先入観について

保健指導の準備でコミュニケーションを
うまく取れなかった学生の雰囲気怖かった
⇒次の日のフィールドトリップでは
カンボジアについてたくさん教えてくれた



02 学生交流・保健指導

PTEC(保健指導)

・準備

BTECでの経験を通して...

「彼らと自分たちの保健指導」という実感

⇒PTECの学生向けに指導台本の作成

模擬授業の実施

・保健指導当日

TGUの学生：英語で保健指導の導入

PTECの学生：クメール語に翻訳

⇒スムーズな進行の実現、指導をする立場である自覚



03 生活・文化について

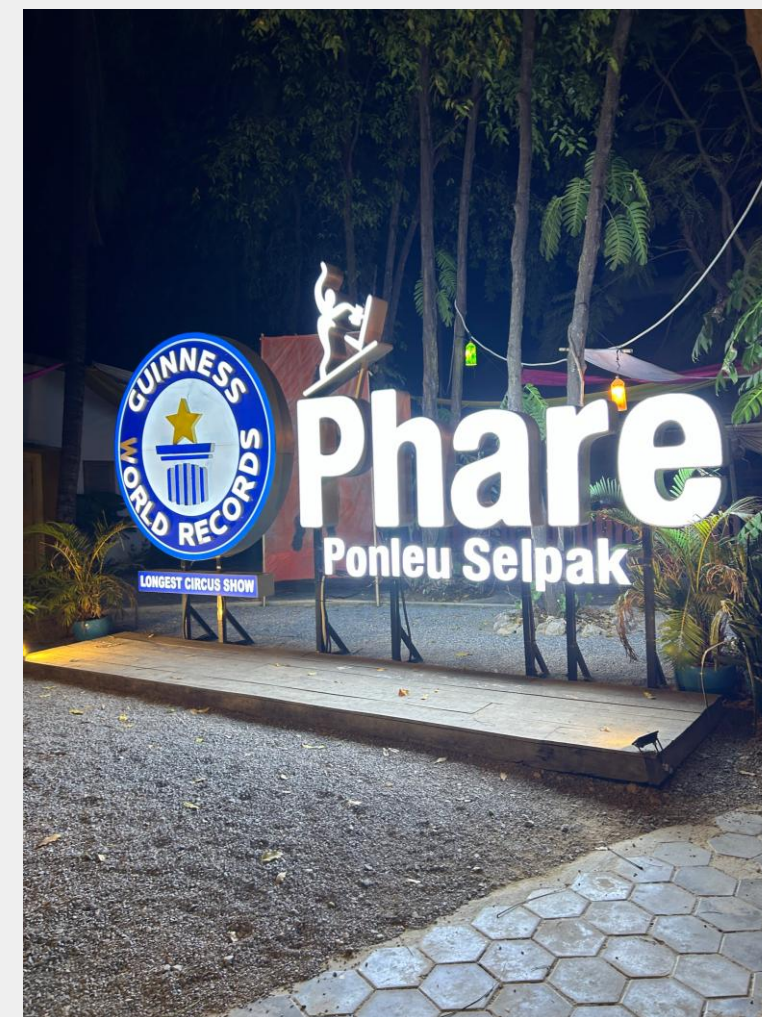
都市や村の風景

- ・都市と村での格差
- ・村内での格差
- ・プノンペンのかい景色



サーカス学校

- ・子どもや同年代の人たちのパフォーマンス
- ・無償の文化教育
- ・職業訓練としての機能



04 感じた・学んだこと

・コミュニケーションは楽しい

英語をしっかりと学んでこなかった後悔
お互いの第一言語が通じない状況で、相手を理解できた時の感動

・教師という職について

子どもたちの楽しそうな笑顔を見れた幸せ
子どもの笑顔のすぐそばに居られる教師の特別性

・カンボジアの歴史や文化・国民性

今から約50年前の独裁政権の歴史と、それに伴う教育システムの立て直し
フレンドリーな性格とおもてなしの心
地域間・世帯間の格差



05 課題と成長したこと・今後について

・先入観

PTECの学生との交流で、自分は先入観を持って人と接してしまう癖があることに気づいた。

誰とでも先入観なしに関わるように意識したい。

・とにかく挑戦してみる

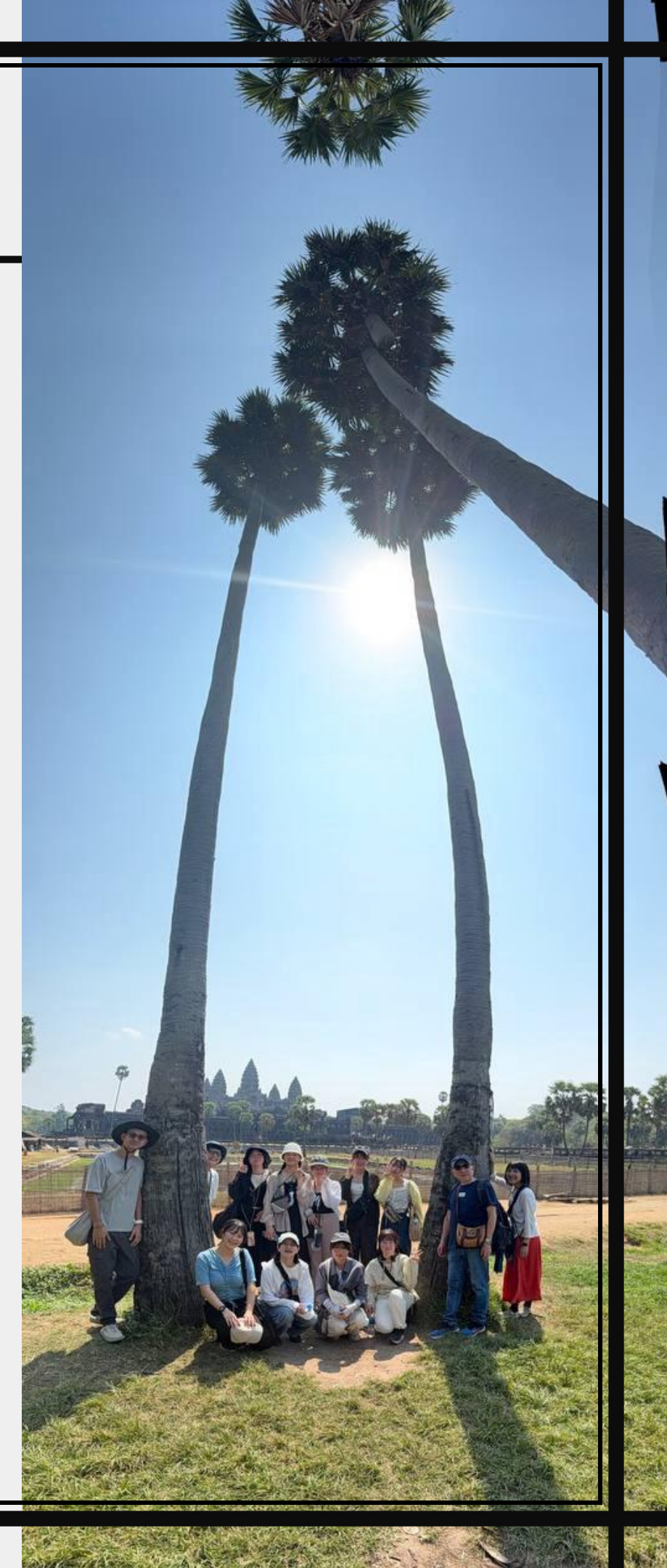
「どうせ上手くできない」などのマイナス思考は外国で足手まとい

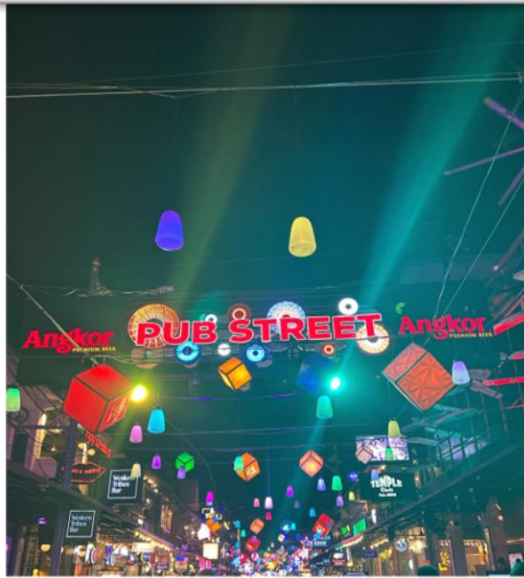
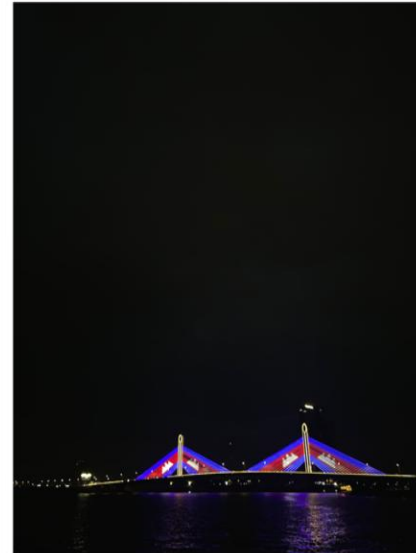
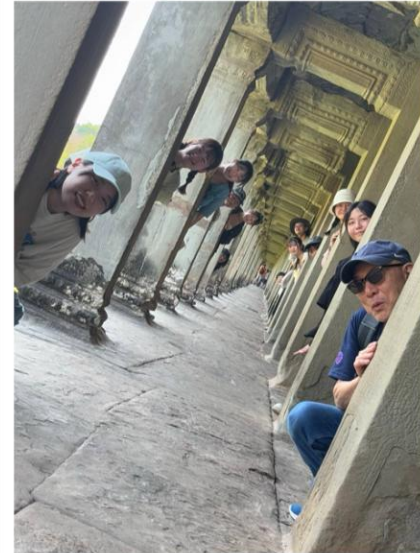
⇒やるしかない状況に身を置いたことで、挑戦する精神が身についた
案外なんとかなる

・笑顔を守る養護教諭

子どもたちの笑顔をたくさん見ることができた

⇒今までの、「児童生徒が自発的に来室しやすい保健室や養護教諭」という理想に加え、健康を通じて子どもの笑顔を守りたいという目標に





ご清聴ありがとうございました！

